

株式会社 ミツバ様

導入機種 → PJP-50R / 約100台、PJP-100UH / 4台、PJP-100H / 1台、RTV01 / 1台

導入時期 → 2007年3月

基本構成 → 群馬県桐生市の本社をはじめ全国の拠点にPJP-50Rを導入、音声会議や通達ツールとして大活躍

会社概要

創業	1946年3月
資本金	98億85百万円
売上高	1,384億83百万円(2006年度実績)
従業員	4,126名
事業内容	モータやワイヤなど自動車、二輪車、応用機器の電装品を開発・製造する「輸送用機器関連事業」を中心に、「自動車用品事業」「情報サービス事業」など5つの事業を展開。
所在地	群馬県桐生市広沢町1-2681
URL	http://www.mitsuba.co.jp/



全国に100台以上のIP音声会議システムを導入し、高音質で簡単操作の遠隔地会議を実現しました。

PJP導入の背景

合併による規模拡大で新たなコミュニケーションツールが必要に。

- 合併により事業拠点が全国に拡大
- 出張経費削減と迅速な意思疎通が課題
- 簡単に使いやすいPJP-50Rを選定

ミツバ様は現在、生産拠点として国内に22工場、海外に24工場を有し、自動車の電装品の製造・販売をグローバルに展開しています。創業以来、群馬県桐生市周辺に拠点が集中していましたが、2007年4月に横浜を本拠とする自動車電機工業(株)と合併したことで規模が拡大、国内事業拠点が全国に広がりました。このため、出張の経費負担を抑え、迅速なコミュニケーションを実現するツールが必要となったのです。同社では以前から、メールや情報共有システム、またビデオ会議などのツールを活用していましたが、社内からリアルタイムの会議をより簡単な手順で実現できるシステムへの要望が増大。そこで各種の会議システムを検討した結果、IP接続のLANポートさえあれば、いつでもどこでも電話感覚で利用できるヤマハの音声会議システム「PJP-50R」を導入することになりました。

PJPを選択した理由

品質・価格・サポート力の総合評価で、PJP-50Rを選定。

- 他社製品に比べて高音質
- 接続・設定・操作が極めて簡単
- 用途に応じてPJPシリーズを最適活用

同社では新しい会議システムを導入するにあたり、事前に投資評価会議で複数のメーカー製品の評価を行いました。その結果、選定されたのがヤマハのPJP-50Rでした。その理由は、まず他社製品に比べて音声品質が格段に優れていたことです。エコーや音切れがなく、臨場感あふれる音声会議が可能となることが高く評価されました。また接続や設定の煩わしさがなく、操作も簡単で、誰でもすぐに使えることもポイントでした。さらにヤマハの全国をカバーする高いサポート力や、PJP-50Rのデザイン性の良さなども決め手となりました。同社では全国の拠点を100台以上のPJP-50RでIP接続すると同時に、PJP-100HとPJP-100UHを連結して大会議室でも利用しています。用途に応じてPJPシリーズをフル活用する同社は、まさに最適な会議システムを実現した好例といえるでしょう。

PJP導入の成果

高音質で臨場感あふれる音声でストレスのない円滑な会議を実現。

- 音声会議に加えて通達時にも活躍
- 出張の経費と時間のロスを軽減
- 今後は電話帳サーバの活用も検討

同社が導入したPJP-50Rは、桐生本社および横浜本社に計29台、研究開発センターに30台、また全国の拠点・工場にもすべて設置されており、その数は合計100台以上です。週1回行われる開発会議、開発と営業の定期会議など、拠点間の音声会議はもちろんのこと、社長の訓示や経営方針の説明会など社内通達にも利用されています。出張の経費と時間のロスは大幅に軽減され、エコーや音切れのないクリアな音声は、臨場感あふれるストレスのない会議を実現しています。そのため、遠隔拠点間と多対多の会議が気軽にできるようになり、社内のコミュニケーションも活性化しました。同社では今後、電話帳サーバのRTV01を導入し、使用状況の把握、活用の推進、機材の管理など、PJP-50Rのより高度な活用も検討しています。



ご導入いただいた機種

PJP-50R

希望小売価格:168,000円(本体価格:160,000円)
JANコード:(S)49 60693 23316 0 (W)49 60693 23375 7

LANポート・LINEポート・オーディオ入出力端子搭載でさまざまな用途に使用可能な高音質音声会議システム!

IP接続ならではの高音質と臨場感のある音声、 電話感覚の高い操作性。それがヤマハのPJP-50R。 ヤマハの音響技術の粋を集めた、高性能会議システムです。

お客様の声

ヤマハの音響技術に注目し、PJPを導入しました。
性能、操作性、価格の総合評価でもっとも優れていました。

「社内のコミュニケーションツールには、さまざまなものがあります。当社でもメール、文書共有システム、ビデオ会議システムなどは以前から使っていました。しかし、より手軽に使える音声会議に対する社内ニーズは極めて高く、導入することにしたのです。PJP-50Rは、性能、操作性、価格の総合評価でもっとも優れていました。今では当社の業務コミュニケーションに不可欠なツールとなっています。」(高橋様)

「ヤマハのPJP-50Rを、高く評価しています。もともと音響技術に定評があるヤマハの製品ですので、期待はしていました。実際に使ってみると、エコーや音切れのない臨場感あふれる音声は、まるで隣のブースにいる人が話しているようです。いつでも、どこでも、すぐにリアルタイムのコミュニケーションを行えるので、業務も格段にスピードアップしているようです。」(黒河内様)



情報システム室 高橋 陽一様



情報システム室 黒河内 友英様

ミツバ様の今後のPJP活用

電話帳サーバ「RTV01」を活用することで、
PJP使用の推進、投資対効果の把握などを検討されています。

すでに100台以上のPJP-50Rを導入している同社では、ヤマハの電話帳サーバ「RTV01」を導入し、今後より高度な活用方法を検討されています。まずRTV01を使えば、個々のPJP-50Rに独自番号を付与でき、IP接続時でも電話と同じ操作でPJPが使えるようになります(使用の推進)。またRTV01に各種機材を登録することで、機材を一元管理できるとともに、IPアドレスが変動するDHCP環境でも常に同じ番号で使用ができます(ローテーションフリー)。さらに、拠点状況、通話状況、通話履歴を一括管理できるので、使用状況が可視化でき、投資対効果を即座に把握できます(使用状況の把握)。こうしたPJPの高度な活用が、同社の業務コミュニケーションをさらに円滑なものにしていくことでしょう。



ミツバ様の製品・技術展示ルーム。安全性や快適性を追求した製品が、クルマを始めとする幅広い分野で活躍しています。

PJP-50Rの特長

音声会議システムならではの「いつでも、どこでも、簡単に」

PJP-50Rは、回線さえあればどこでも会議が始められ、電話と同じ簡単な操作で直感的に使えます。

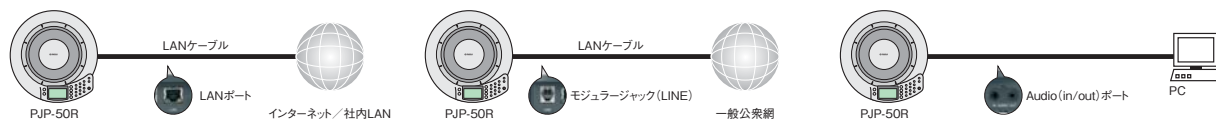
またIP接続とアナログ電話接続の両方に対応できるのも、PJP-50Rの特長です。固定電話や携帯電話とも通話が可能ですので、社外からでも会議に参加できます。

IP接続ならではの「高音質、多地点接続、常時接続」

特にIP接続時には、広帯域の通信により高音質で臨場感あふれる通話が可能です。またPJP-50RをIPで常時接続させていくことで、遠隔拠点間を「その場にいる」ように音声で繋げることもできます。しかもIP接続時には、PJP-50Rのみで最大8拠点(カスケード接続時の)同時通話が可能です。

多彩な接続端子+オーディオミキサーで「使いやすい」

PJP-50Rには、3つの接続端子が搭載されています。IP接続用の「LANポート」、アナログ電話接続用の「LINE端子」、PCとの接続などに使える「オーディオ入出力」の3つです。このすべての端子を同時に使用することができ、多彩な会議形態に対応が可能です。



PJP-50Rの概要

- 寸法 / 283.4(幅)×297.5(奥行)×51.5(高さ)mm
- 重量 / 約1.4kg(電源アダプタ含まず)
- 電源 / AC100V 50/60Hz ● 用途 / 音声会議機器
- 音声符号化方式 / G.711 拡張独自方式 (fs=16kHz) G.711 (μ-Law) G.726
- 音声インターフェース / Ethernet (10/100BASE-TX)、アナログ電話モジュラーコネクタ、アナログ入出力各1系統(ミニジャック)
- その他機能 / 適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、多地点音声会議機能(メッシュ接続最大4地点、カスケード接続最大8地点)、ファームウェアバージョンアップ機能(HTTP、TFTP)



安全に関するご注意 ● 本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。



感動を・ともに・創る

プロジェクトフォンお客様相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎ 053-460-2822 ■ FAXによるお問い合わせ先 ☎ 053-460-2829

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎ 会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら <http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

ECO-PRINT このパンフレットは
無塩素漂白
(ECP)パルプを
使用しています。

このパンフレットは再生紙と
大豆油インクを使用しています。